

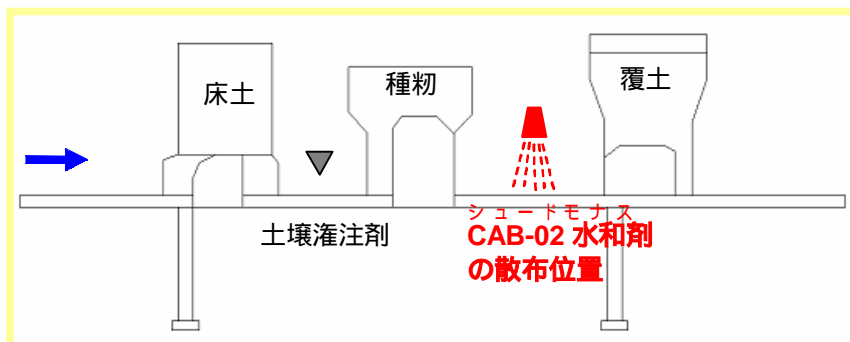
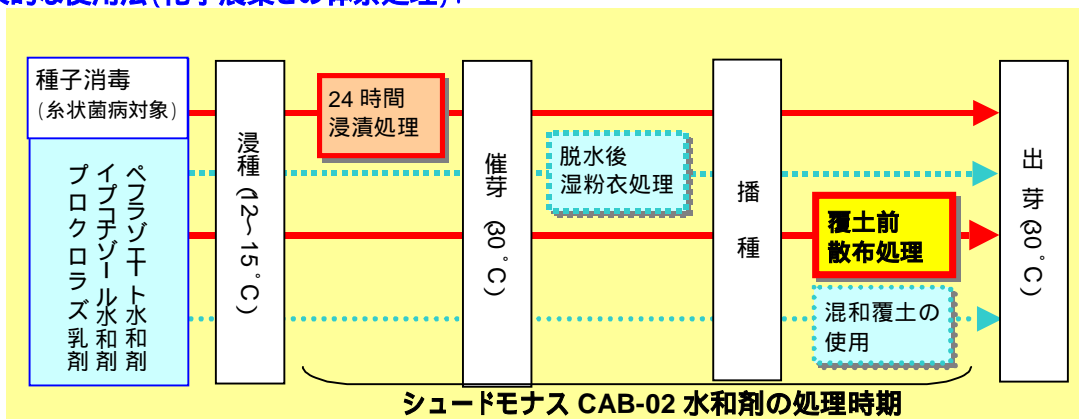
## 生物農薬「シュードモナス CAB-02 水和剤」の 特性と使用上の留意点(追補)

生物農薬「シュードモナス CAB-02 水和剤」(商品名:モミゲンキ水和剤)の播種後覆土前散布は省力的な細菌病類の防除法として防除効果が高い。本剤にはこの他浸種後催芽前における500倍液への浸漬処理などの処理方法が適用できる(研究レポートNo.168)。

### 推奨するモミゲンキ水和剤の使用方法

適用病害	希釈倍率・使用量	使用時期	総使用回数	使用方法
もみ枯細菌病 苗立枯細菌病	500倍	浸種後催芽前	2回	24時間種子浸漬
	乾燥種子重量の1%	催芽後播種前		湿粉衣
	10g/覆土1L	播種時		覆土混和
もみ枯細菌病	100倍液 50ml/箱	播種後覆土前		散布

### 効果的な使用法(化学農薬との体系処理):



シュードモナス CAB-02 水和剤の播種後覆土前散布の処理位置

本剤を播種後覆土前に散布する場合、播種層から土壤灌注剤が抜けきっている状態で行うこと。

### (使用上の留意点)

- 1) 使用まで冷暗所保存とし、使い切りとする。
- 2) 混用または併用できない薬剤があるので、薬剤の袋裏の注意書きをよく読むこと。
- 3) 薬剤処理後の低温(10 未満)や極端な高温(35 以上)、また、種籾や土壤の乾燥は本剤による防除効果の低下を招くので行わない。
- 4) 本剤の主成分は生細菌であるが、廃液は次亜塩素酸ソーダ等で殺菌後、沈殿物は適正に処理すること。